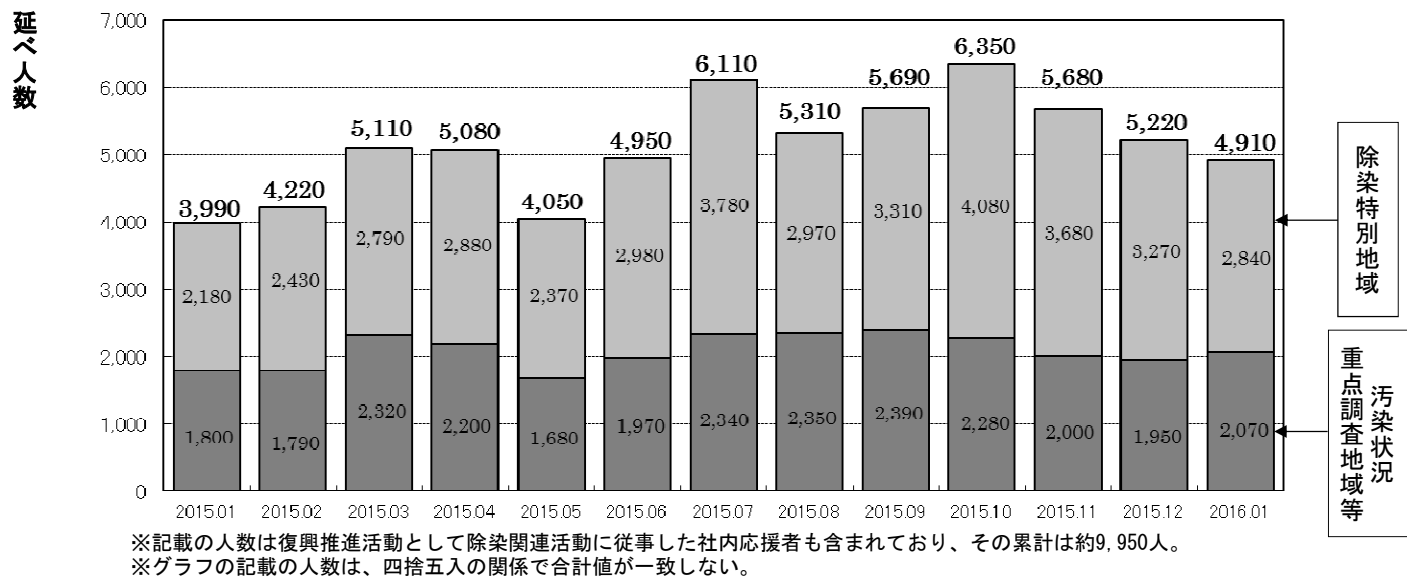


- 2013年1月からの除染業務対応人員の累計は約148,050人（2016年1月末現在）
（内訳）
- 除染特別地域（旧警戒区域＋計画的避難区域の11市町村）での取り組み
環境省から委嘱を受け、国が除染を行う業務に対し、放射線管理、モニタリング、除染等に関する技術面での対応。【同期間の活動人数累計 約76,600人】
 - 汚染状況重点調査地域（福島県内40市町村）等での取り組み
環境省から委嘱を受け、市町村が中心となり行う業務に対し、モニタリング、除染等に関する技術面での対応。【同期間の活動人数累計 約71,440人】



除染推進活動

県道49号・50号及び国道114号(帰還困難区域)のモニタリングへの対応

実施期間 2015年11月25日、12月7日

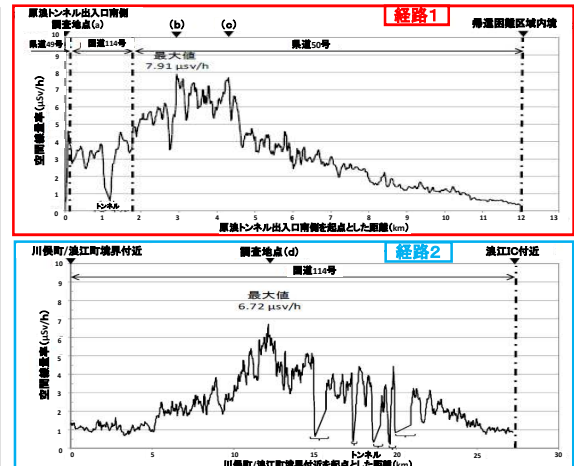
実施場所 県道49号・50号及び国道114号の一部(帰還困難区域37.8km)

実施人数 社員 延べ9人

実施内容 内閣府原子力災害対策本部からの要請により、帰還困難区域内の県道49号・50号及び国道114号について、自動車等で通行した際の放射性物質の影響を確認するため、当該道路の空間線量率の測定等を実施。



空間線量率測定区間※



各経路の空間線量率分布の測定結果※

※「県道49号、県道50号及び国道114号(帰還困難区域)の線量調査結果について」(内閣府原子力被災者生活支援チーム 2016年1月27日公表)を基に作成

除染推進活動

檜葉町 仮置場周辺のモニタリング等への対応

実施時期 2015年11月11日～2016年 1月22日

実施場所 檜葉町

実施人数 社員 延べ20人

実施内容 檜葉町において、環境省からの要請により、仮置場フェンス周辺のモニタリングや土壌等の除去を実施。



モニタリング状況



除去作業前



除去作業後